

# 令和6年開校 有和中学校

市内4つの中学校を統合し、令和6年春に開校予定の「有田市立有和中学校」について、今回は、コンセプトや設計に込められた思いをご紹介します。

本市の小中学生の学力は、教育環境の整備、保護者や教職員の努力などにより、全国上位レベルになりました。また、部活動においては、近畿、全国でも目に見える成果が表れつつあります。

このような「文武両道」の姿勢とともに、郷土を愛する心、自分を取り巻く人々に対する思いやりや感謝の心を持つ児童・生徒の育成に努めてまいりました。今後は、これまでの教育方針に加え、新時代に活躍できる人づくりの方策と環境整備をより一層強化してまいります。有田市で唯一の中学校が、より良い学び舎として成長できますよう、市民の皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

教育総務課 TEL22-3758



有和中学校外観イメージ

**快適な学習環境**

- ・今までにない広く明るい教室で、のびのび学習
- ・空調機が完備され、熱中症予防や換気効果を発揮
- ・感染症対策のためすべてのトイレを乾式化、洗浄機付き便座を完備
- ・非接触で手が洗える自動水栓を導入



**最先端の授業を実現させる教育設備**

- ・ICTを整備し、膨大な情報の収集を可能にできると同時に、学びの個別最適化にも対応
- ・グローバルな視野とSociety5.0の時代に必要とされる情報処理能力の基礎を学ぶ



**誰もが大切にされる学校**

- ・段差を少なくし、教室棟、体育館棟の両方にエレベーターを設置するなどバリアフリーに配慮
- ・相談室を複数設置し、様々な生徒や保護者の声に耳を傾ける
- ・トイレは、身体の不自由な生徒も使える「多目的トイレ」を各階に配置
- ・制服の選択についてはLGBTに配慮



**誰もが学ぶことができる学校**

- ・「市民と学べる」「市民が学べる」学校として、生涯学習に活用できるスペースがあり、学校全体をオープンなイメージに
- ・現在ある4中学校を懐かしみ、市民の母校である証のメモリアルホールを整備

**避難所にもなる体育館棟**

- ・体育館は、バスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部が同時に活動できる
- ・今までにない広いアリーナに。部活動の大会やその他様々なイベントにも使えます！
- ・最上階には剣道部、柔道部、空手部が同時に練習できる広い武道場を整備
- ・体育館・武道場は、津波・洪水などの災害時には頼れる避難所に。備蓄倉庫も備え、防災機能を徹底強化
- ・屋上へは、地上から上られる階段があり、災害時に一時避難できる広場も

## 4中学校の良さを継承する



**隈研吾氏 有和中学校を語る**  
特別講演会「有和中学校が開く、地域の未来」より抜粋



### 風の通る道

20世紀には、1つの箱の中へ効率的に詰め込む、ショッピングセンターのような建物が流行しました。都市部では、建物を建てる場所がないので、高層階へ、高く高く建物を建てるのが主流になりました。でも私は、これからは隙間を大切にすること、風の通る道を作ること、都市を見直して、地方を中心に反していくことが大切だと感じています。

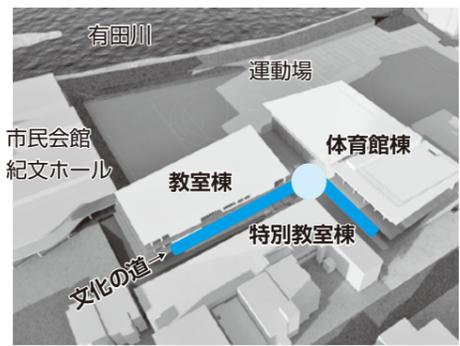
### 山並みと学校の調和

初めて有田に来た時、なんてすばらしいところかと思ひ、この山並みと新しい中学校をなんとかうまく調



**自然環境に調和し、郷土の風景と呼応する**  
有田市のシンボルとなる学校を計画しています。

最先端のICT整備など、教育環境の充実のほかにも、地域や友達、自然とのつながりも大切にしています。



**地域の活動・学びの拠点となる**  
開かれた学校づくり

・地域に開かれた入口を始点とした校内をぬける道、「文化の道」を創造。  
・学校と市民会館・図書館の結節となるところに、ハブになる特別教室棟を作り、生徒と市民のつながりをつくります。

木のあたたかさ、ぬくもりを感じられるつくり。



有和ゲート (イメージ図)

### 有和ゲート

校内の新しいシンボルとなり、学校生活の軸となる有和ゲートは、登校時から授業、休み時間、部活動から帰宅時までの活動をつなぐ通りです。学生生活における様々な活動を集約し、交流の場を設けることにより賑やかな校風を促す空間をつくりまします。

### やまのテラス

教室棟と体育館棟をつなぐ「やまのテラス」からは、学校の両側にある山を見渡すことができ、自然を感じられる開放的な場所になっています。建物の形状を分棟配置とし、隙間をつくり、風を通します。また、山並みと同じように自然の交流の丘をつくります。